

「交通に対する意識調査」(堺市独自アンケート)の調査結果概要

アンケートの目的

近畿圏交通実態調査(第5回パーソントリップ調査)による交通行動の実態把握と併せて、堺市の公共交通(鉄道、路面電車、バス)に関する利用状況や意向を把握することで、今後の交通施策の検討に活かす基礎情報を得ることを目的として実施した。

アンケートの実施概要

■ 調査方法

- ① 郵送による発送、郵送による回収
- ② 郵送による発送、インターネット(Web回答)による回収
- ③ 郵送無し、オープンインターネット(Web回答)による回収

郵送については近畿圏交通実態調査の発送世帯76,790世帯のうち、京阪神都市圏交通計画協議会が設定した政策意向調査票の配布世帯を除いた72,690世帯(調査全体の約95%)に対して本アンケート調査票を各世帯1枚送付した。

■ 調査対象

郵送調査では、堺市の住民基本台帳(平成22年5月末現在)に登録のある18歳以上、WEB調査では調査実施時点で堺市在住の18歳以上を対象とした。郵送に関しては、近畿圏交通実態調査の調査票発送世帯のうち1人が回答する形式とした。なお、世帯の中での回答者(世帯主、年長者など)は指定していない。

■ 調査期間

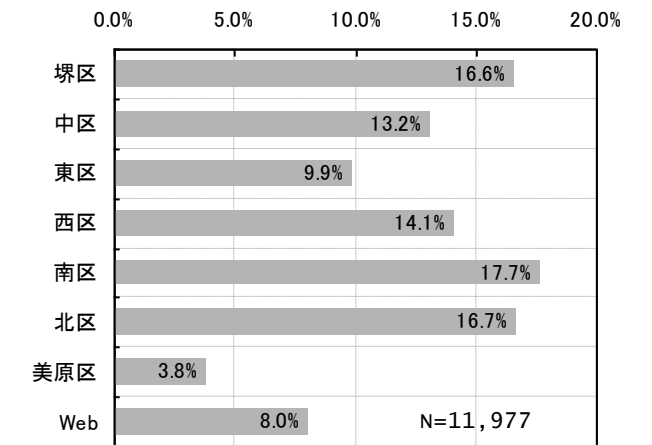
調査期間は平成22年10月6日から平成22年11月30日の約2箇月間とした。データ入力及び回収結果の集計については、郵送による回答は平成22年12月末までの回収分を対象としている。

■ 回収結果

調査方法	発送数	回収数	回収率
①調査依頼・郵送回答	72,690	11,016	15.2% (※)
②調査依頼・Web回答	11,890 (うち追加発送)	961	—
③オープン・Web回答	—		—

※この回収率は、調査票を発送した世帯のうちWeb回答を含んでいない

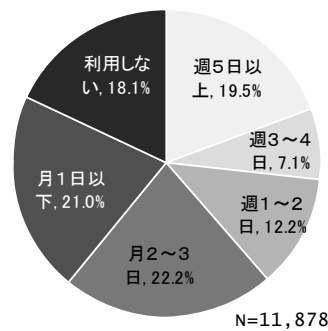
■ 回答者の地域属性



アンケート結果(全般について)

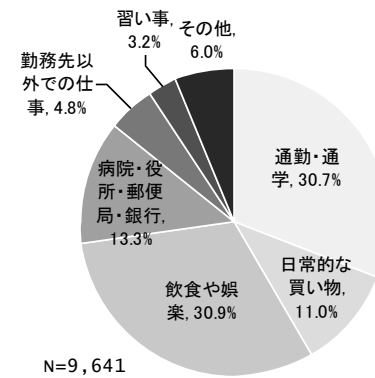
■ 公共交通の利用頻度

- 週1~2日以上公共交通を利用する人は全体の約4割を占める
- 公共交通を全く利用しない人は全体の約2割となっている



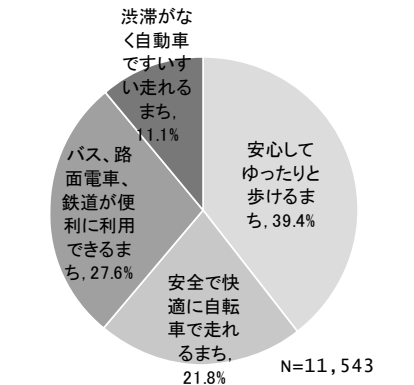
■ 公共交通の主な利用目的

- 日常的利用(通勤・通学および日常的な買い物)での利用が約4割を占めている
- 「飲食や娯楽」が約3割となっており、「通勤・通学」とほぼ同程度となっている



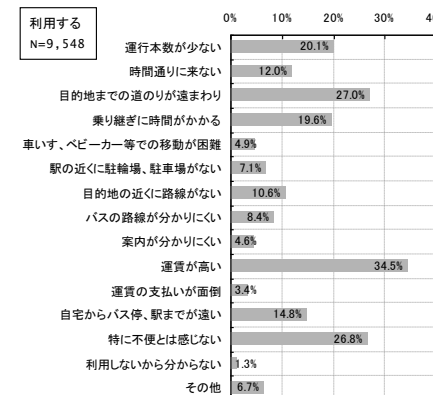
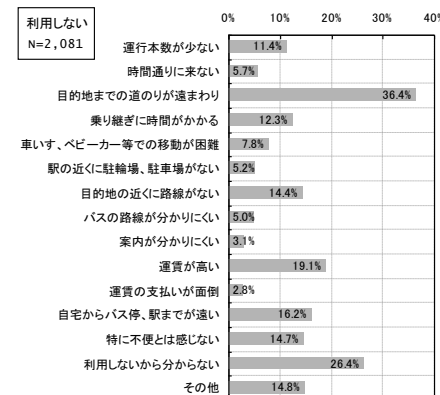
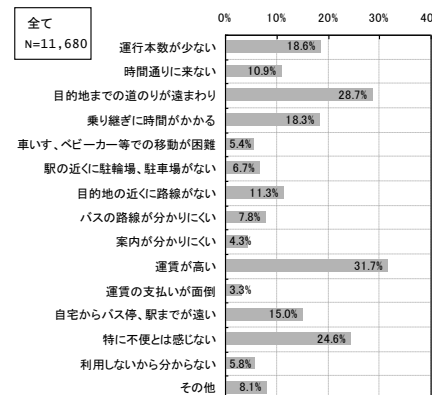
■ 最優先するまちづくり

- 「安心してゆったりと歩けるまち」を最優先と考える人は約4割となっている
- また、公共交通の利便性向上についても約3割の人が最優先の方針として挙げていることから、堺市においては自動車よりも公共交通・徒歩を優先したまちづくりが望まれていると考えられる。



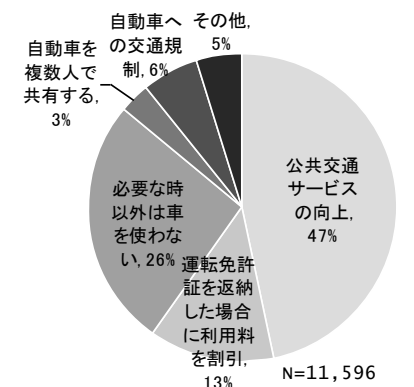
■ 利用頻度×不便な理由

- 全ての回答者でみると、「目的地までの道のりが遠まわり」と「運賃が高い」がそれぞれ約3割と多くになっている。
- 公共交通を利用しない人が不便だと感じる理由としては「目的地までの道のりが遠まわり」が最も高くなっている
- 「利用しないから分からない」を除けば「運賃が高い」が2番目に高い。



■ 過度な自動車利用の見直しに有効な取り組み

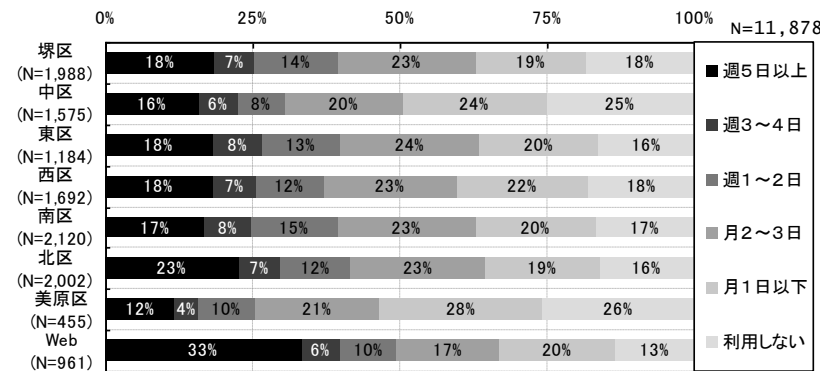
- 「公共交通サービスの向上」が約5割で最も多く、次に「必要なとき以外は車を使わない」が多く約3割を占めている



## アンケート結果（地域特性について）

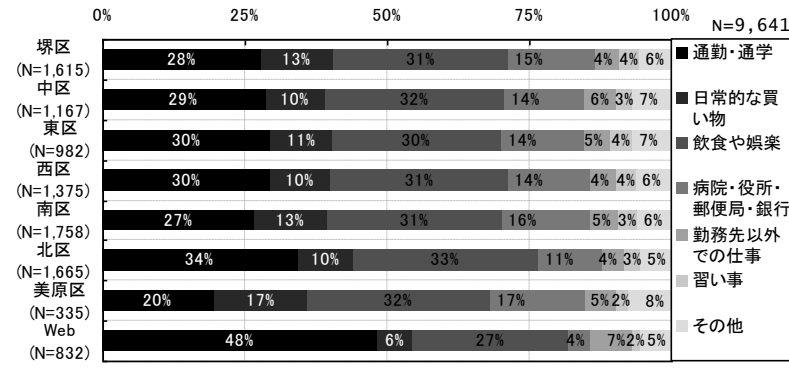
### ■回答者の地域属性×公共交通の利用頻度について

- 中区和美原区においては、公共交通を利用しない人が約3割となっている
- 特に美原区では週5日以上利用する人の割合が最も低い。



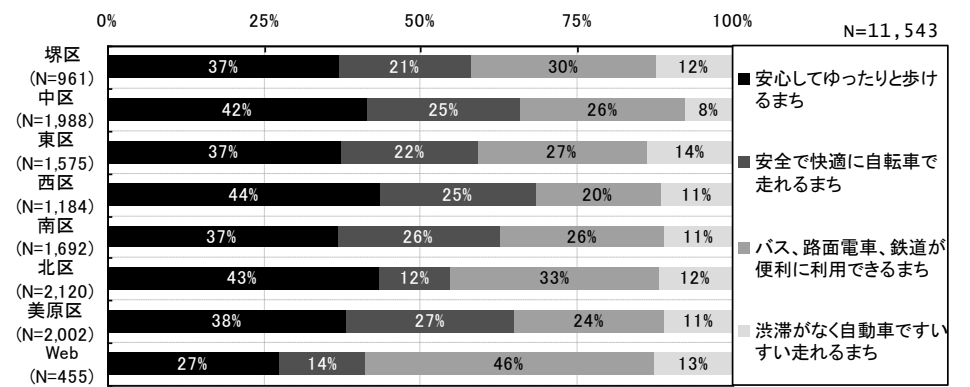
### ■回答者の地域属性×公共交通の主な利用目的について

- 「通勤・通学」目的で公共交通を利用している人の割合に着目すると北区が最も多く、美原区が最も少ない



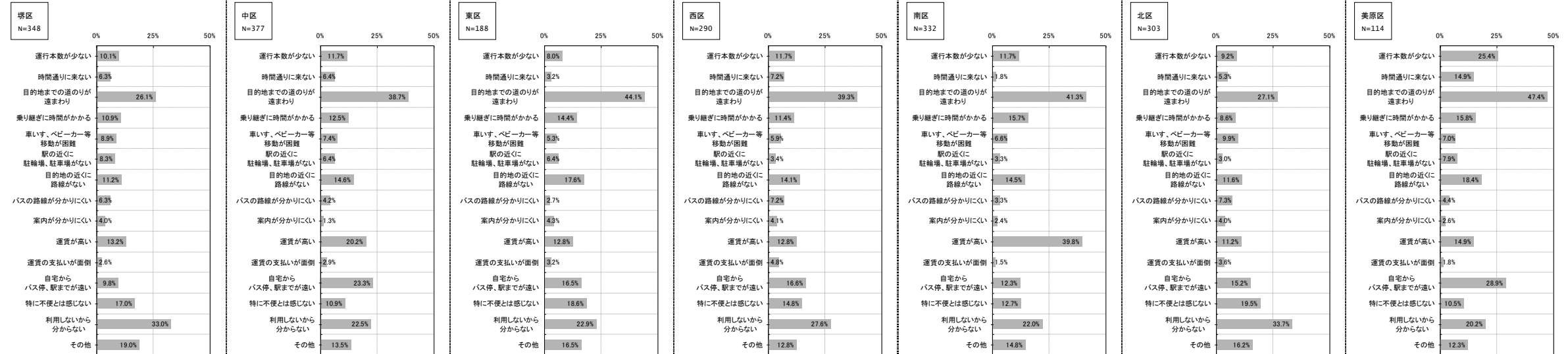
### ■地域属性×最優先する交通まちづくりについて

- 「安心してゆったりと歩けるまち」の割合は、いずれの区も約4割と最も多くなっている
- 「バス、路面電車、鉄道が便利に利用できるまち」の割合は、北区が最も多く、西区が最も少ない



### ■地域属性×公共交通を不便だと感じる理由（利用しない人）

- 堺区、北区では「利用しないから分からない」が最も多く、3割程度である
- 中区、東区、西区では「目的地までの道のりが遠まわり」が最も多い。南区では「目的地までの道のりが遠まわり」に「運賃が高い」が同程度である
- 美原区では「目的地までの道のりが遠まわり」が最も多く、「自宅からバス停、駅までが遠い」、「運行本数が少ない」と続いている



### ■地域属性×公共交通の利用促進につながると思う取り組みについて

- 公共交通の利用促進につながると思う取り組みは「割引制度の充実」がすべての地域で最も多い
- 美原区では、「運行本数を増やす」が「割引制度の充実」に接近して割合が高い。

